

拝啓 今年も早や6月末となりました。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。近所の公園では、あじさいの花が咲いております。私が住んでいる港北ニュータウンの中に正覚寺というあじさいで有名なお寺があります。そこへ今年も行ってきました。

今回も、「小西芳之助先生金曜会語録」からの引用です。今回の部分は、昭和36年から37年頃金曜会に出席された時の話です。今回の語録にも感銘を受ける内容が多くあります。読者の皆さんから頂く感想も、小西先生の語録はすごいということでした。宗教家の語録には有名なものが沢山ありますが、それと同じなのでしょう。

石館守三先生のCDロムを22セット作成し、皆さんにお送りしましたが、送り主の私が忙しくてなかなか聞く機会がありません。それで、この前用事で岡山県の津山に行った時、ホテルと帰りの新幹線で、4つほど聴きました。ヨハネ黙示録講義を最後まで聴きましたが、石館先生もお忙しかったでしょうに、毎月よく御準備されて、素晴らしい内容の黙示録講義をされました。小西先生は、最後に感想として、高円寺東教会が設立25年でここまで素晴らしい聖書講義が出来るようになったとことをしめす記念すべき説教であると述べておられます。

5月16日(土)岡山の山陽新聞社主催のセミナーの講師に招かれ、「南原繁の生涯に学ぶ一出会いの大切さ」という題で90分の講演をしてきましたが、6月16日の山陽新聞に、講演の要旨を写真入りで新聞1頁大で紹介してくれました。内容を上手に要約してくれていますので、コピーを同封いたします。

6月20日(土)は、南原研究会の鈴木英雄さんと宮沢賢治研究会の白木健一さんのお2人が「佐々木八郎さんの思い出を語る会」を立ち上げられ、東大の山上会館2階の立派な会議場で、シンポジウムを開かれました。私もお手伝いをする光栄な役割を頂きました。白木さんは、パワーポイントを使って、佐々木八郎さん(東大経済学部学生から学徒出陣、鹿屋から特攻隊パイロットとして出撃、戦死。遺稿が『きけわだつみの声』『はるかなる山河』等に収められています)の思想を辿られました。私が一番印象的だったのは、危険を避けるため航空志願は止めよという父親と大激論をした本人が、弟には徴兵を逃れるため、理科進学を勧め、弟さんは理科に進み、物理学を収め、今も御健在で出席、スピーチをされました。父親の意見の方が正しかったこととなります。

梅雨の時期に入りましたが、皆様もどうかお身体ご自愛のうえ、お過ごしください。

敬具

平成27年6月23日

山口周三

エンカウターの読者各位